

図書館通信



豊かな時間を図書館で

平成29年

10



月号

第439号 (第36巻第7号)

【目次】

P 1	鷺別配本所紹介	P 6	図書館職員コラム
P 2-3	行事と展示	P 7	わたしのおすすめ本
P 4	活動の報告	P 8-11	新着図書案内
P 5	アーニス分館だより	P 12	カレンダー・施設案内

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

鷺別配本所のご案内

登別市立図書館の鷺別配本所は登別市鷺別町3丁目の鷺別公民館の1階にあります。

蔵書数は、本館・アーニス分館に次ぐ7500冊です。

インターネットも閲覧できます(平日のみ)。

織田信長の研究家として全国的に知られる、登別

在住の谷口克広さんの著作コーナーもあります。

室蘭市に近いことから、室蘭市民の利用も多いことが特徴です。

登別市と室蘭市・伊達市の図書館は、「西いぶり広域図書館」として、あたかも1つの市のように共通利用できます。

例えば、登別本館や市立室蘭図書館にある本を、鷺別配本所に取寄せて、借りたり返したりすることができます。

また、年末年始以外には休館日がありませんので、登別市立図書館やアーニス分館が休みの日でもご利用になれます。(午後0時15分から午後1時までは昼休みとなります)

お近くにお越しの際は、ぜひご利用ください。



毎月恒例！映画会

こども映画会

10月7日(土)午前10時30分～

シートン動物記 ちび犬チンク (アニメ 23分)



～世界中に愛され続けている動物物語～

入場無料♪どなたでもご覧いただけます。
場所:図書館3階 会議室

名画鑑賞会

10月7日(土)午後1時30分～



チャップリンコレクション モダン・タイムス(洋画83分)

製鉄工場で働くチャーリーは、ベルトコンベアーを流れる部品にねじを回し続けるという単純作業を繰り返していた。チャーリーは労働者の食事時間を節約する自動給食マシンの実験台にされ散々な目に合わされるが、ある勘違いから逮捕され刑務所に....

場所:図書館3階 会議室
入場無料!どなたでもご覧いただけます。

今月のスペシャルイベント



ビブリオバトル のタベ



第20回

本を通して人を知る・人を通して本を知る

本と人、人と人を繋ぐ『ビブリオバトル』
登別図書館のビブリオバトル第24弾です。
お茶を飲みながら、
お気に入りの本の紹介を楽しみましょう!

日時 10月12日(木) 午後6時～7時30分

場所 登別市立図書館 3階会議室

対象 どなたでも参加できます。

はじめにルールをご説明してから始めますので、
ビブリオバトルを体験したい方もぜひご参加ください。
観戦だけの方も歓迎いたします。

申込 不要。直接会場にお越しください。参加費無料。

持物 お気に入りの本を各自1冊持参してください。

共催 いぶりびぶりぶ♪松田靖子さん

※登別図書館では、隔月でビブリオバトルを開催しています。

主催・お問い合わせ 登別市立図書館 ☎85-4324

おはなし会

わらべうたと えほんのよみがたり おはなしくれよん

と き: 10 がつ 4 にち、18 にち(すいようび)
ごぜん 10じ30ふん
ほしよ: 3かい かいぎしつ



あかちゃんマッサージやわらべうた、えほんのよみがたり
などおこなってっています。

えほんのへやの おはなしかい!

と き: 10 がつ 14 にち(とようび)
ほしよ: 1かい えほんのへや



こんげつは
ハロウィーン
おめでとう
です

図書館しょくいんが
えほんやかみしばいの
よみきかせをします。

日時が変更・中止になる場合があります。ホームページや広報にてご確認ください。

よみきかせボランティア おはなしぽけっと

と き: 10 がつ 28 にち(とようび)
ごぞ 1じ30ふん
ほしよ: 1かい えほんのへや



えほんやかみしばいのよみきかせ、エブロンシアター
などおこなってっています。

展示のお知らせ

瀬田貞二 作品展

展示期間：9月30日（土）～10月20日（金）

展示場所：図書館1階 ロビー

昨年生誕100周年を迎えた児童文学者でもある瀬田貞二さんの作品展を行います。

瀬田さんは、「三びきのやぎのがらがらどん」「おだんごぱん」「ナルニア国物語」などの海外文学の訳者としても知られています。この機会に、ぜひ作品を手にとってお楽しみください。

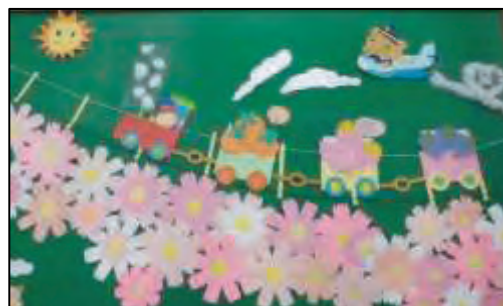


インターンシップ受け入れ

8月15日から29日まで國學院大學北海道短期大学の小林さんがインターンシップで登別市立図書館に来ていました。体験終了後のインタビューをご紹介します。



- インターンシップ先に図書館を選んだ理由は？
「大学で司書資格の講義を受けているためです。」
- 実際に体験してみた感想は？
「作業になれていない頃は大変でしたが、皆さんが優しく指導してくださったので、楽しく働き学ぶことができました」
- 楽しかった業務は？
「館内の装飾（*1）・ポップ作り、雑誌の保護フィルム貼りです。」
- 大変だった業務は？
「本の修理や、〇〇〇な本はありますかなどの利用者さんからの問い合わせへの対応です。」
- 将来の目標は？
「民俗や郷土資料に関する学芸員か司書になることです。
いずれかになりたいと思っています。」



登別市立図書館や移動図書館車こぐま号、アーニス分館など違う場所での勤務もありましたが2週間楽しそうに働いてくれました。手先が器用で積極的に動いてくれましたので、いろいろな仕事に取り組んでもらいました。これからも将来に向けて、頑張ってください！

*1 現在児童室で飾っている壁面工作のコスモスをたくさん作ってくれました！

『えほんのへや』の畳を張り替えました！

ご利用者からご寄付をいただき、図書館1階『えほんのへや』の畳の表替えをいたしました。図書館全体に、真新しい青い畳の香りが広がり、清々しい気分になれます。なによりも、市民の方からのご厚意で、ということに、職員一同、大きな喜びを感じています。どうもありがとうございました。



アーニス分館だより

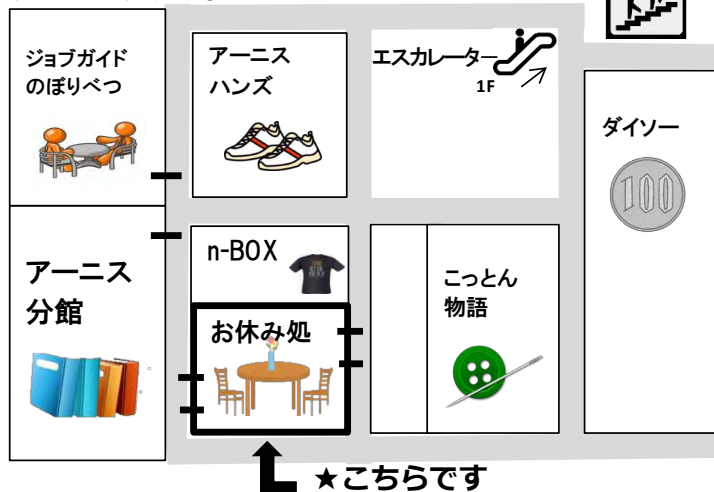
アーニス分館では

- * 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- * 見やすい大活字本があります。
- * 雑誌の最新号は一夜貸しも行っています。
- * リサイクル本コーナーもあります。



お休み処 ご存知ですか？

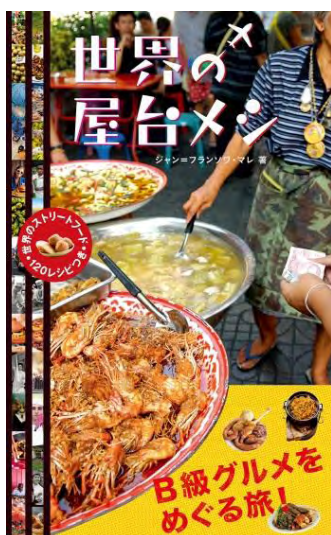
●アーニス 2階



- 10時から18時までご利用できます。
- 飲食ができます。(持ち込みOK)
- アーニスのFREE Wi-Fiが使えます。

貸出が済んだ本をゆっくりご覧頂いたり、落ち着いた勉強できるスペースになっています。どうぞご利用下さい。

《新刊おすすめ本紹介》



世界の屋台メシ

ジャン＝フランソワ・マレ 著
グラフィック社

屋台や露店で地元の人にまじってご当地グルメを味わうことで、その町や国がぐっと身近に感じることができる。元シェフの写真家が10年の歳月をかけて旅して食べて撮った、お国柄が詰め込まれた「屋台メシ」を紹介。

料理のアップ写真がインパクト大です。
120品のレシピつきで世界のおいしい屋台メシをご家庭で味わえるかも！
是非ご覧下さい！



「ハッピーエンドでなくちゃ、イヤッ！」

「ときめき橋」という素敵な名前の橋をわたって、車で通勤しています。

空を切り取る稜線にかかる大きな虹や開けた窓から吹き込む海風の湿度、水平線が抱く波光の揺らぎ、夕日が紡ぐオレンジ色のグラデーションなど、四季折々に「ときめき」を感じます。

(ロードヒーティングが切れている雪の日は、別な意味で「ときめき」ますが・・・)

人生は、四季にたとえられることがあります。

青春。芽生えた青葉は、降り注ぐ光と愛情を受けてのびのびと枝葉をひろげ、

朱夏。不断の努力と尽きない情熱で、その手に赤く熟れた成果を抱き

白秋。やがて、すべてを白い煙に変えて空に還し、そして・・・

玄冬。静謐な闇のなかに真の安息を得る。

物語の主人公たちにもさまざまな人生があります。孤独、絶望、信頼、友情、淡い恋心や持て余す嫉妬心を抱えて生きる主人公たちに読者は、自分のそれを重ね合わせながら魅了されていきます。しかし、どんな物語にもやがて終わりはやってきます。

「涼しい風だね。」島崎藤村は最後にそうつぶやいたといいますが、誰しもがおだやかに終焉の時を迎えられるとは限りません。日々報道されるいじめ、差別、殺人、テロ・・・現実には存外、苛酷なものです。ならば、せめて物語の終わりは明るい未来を信じられるようにと願わずにいられない。

だから、今日も仁王立ちで本を両手に叫ぶのです。

『ハッピーエンドでなくちゃ、イヤッ！！』



ハッピーエンドでなくちゃ、イヤッ！！

♠♠♠バックヤード♠♠♠

(その1) タイトルは、クリアファイルに貼ってあるシール(昔買ったチョコのおまけだったもの)にインスパイアされ.....すみません、パクりました。

(その2) 中学時代「初恋」という詩が大好きで島崎藤村の自由研究をしたことがあります。


姪と「不適切な関係」だったことを知り、純情可憐だった私の脳内では「破廉恥」という言葉がリフレインしておりました。現在、文豪たちが担当女性編集者に手を出したり、妻を譲ったり、人妻と心中したりという事実を知るに至り、思うのです。「恐るべし、文系男子！」

(その3) ペンネームは、子どもの名付けに親の名前から一字とる方式で、ドライブの時よく聞いていた女性アーティストたち、竹「内」まりや・松任谷「由」実、杏「里」からいただきました。

では、「中」は誰かわかりますか？(年代がバレバレですが・・・)



エゾユキウサギ、跳ねる / 富士元寿彦 著 / 北海道新聞社

ふと手にした本です。・・・ときめきました 

北海道生まれの著者 富士元寿彦さんが、一番大好きな動物というエゾユキウサギの全てを書いた本です。

エゾユキウサギという動物の名前はみなさんも聞いたことがあると思います。

知ってる！と言われると思いますが、少し紹介させてください。

北海道に生息する野生のウサギでおもに大雪・日高山系にみられるそうです。近年ではめっきり見かけなくなり、実態はわかりませんが生息数が減ってきていると言われています。

毛色は夏が茶毛で冬になると白毛に変わるそうです。

私は白毛だけのイメージでした・・・みなさんはどうですか？

この本の最後に「モデルになってくれた多くのエゾユキウサギたちに心から感謝いたします。」とあります。とってもエゾユキウサギ愛にあふれていて、気持ちがほっこりしました。

遊び心・癒し・知識また、なかなか見ることができない写真が満載です。楽しいです。

今年の十五夜は10月4日です。♪うさぎうさぎ♪なに見て跳ねる十五夜お月さん見て跳ねる♪

十五夜に、私はこの本を思い出すでしょう・・・おだんごを食べながら(^o^)

可愛いエゾユキウサギで癒されたい方、おすすめします。



今まで自分が見ないジャンルの本でも、ふと手にすることで学ぶことや気持ちが和んだりすることがあるかもしれません。たまには目線を変えてみるのはいかがでしょうか。

郷土資料紹介

ぷやら新書 / 和田義雄 編 全50巻

ぷやら新書の豆本を紹介します。

この本は喫茶店を経営しながら児童文学を書いていた札幌の和田義雄さんが、昭和36年から47年まで11年間、北海道にこだわった文学・文化・自然などを豆本にしたものです。

1冊のサイズは16センチ、約64ページで全50巻です。復刻版も出ています。

なんとその1巻めの著者が登別ゆかりの人でもある 知里 真志保さんです。

タイトルは「えぞおばけ列伝」。この中に富岸(とんけし)のことが出てくるお話もあります。

怖いお話、アイヌ語とても興味深いです。

他の巻では、『第25巻 北海道のたべもの/小幡彌太郎 著』などがあります。



【ご紹介した郷土資料をご覧になりたい方は、職員までお尋ねください。】

図書館通信9月号で紹介しましたが、2階展示架に「登別ゆかりの人」コーナーがあります。知里真志保さんの本もありますので、ぜひご利用ください。

このコーナーの本は貸出できます。他にも多くの登別ゆかりの人たちの本があります。

新 着 図 書 案 内 平成29年10月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		われは何処に	丸山 健二
● 弥栄の烏 (八咫烏シリーズ 6)	阿部 智里	嘘と人形	岩井 志麻子
● AX	伊坂 幸太郎	化身の哭く森	吉田 恭教
帝都大捜査網	岡田 秀文	● 真夏の雷管 道警・大通警察署	佐々木 譲
● 真ん中の子どもたち	温 又柔	● 怪盗桐山の藤兵衛の正体	佐藤 雅美
キッズファイヤー・ドットコム	海猫沢 めろん	白村江の戦い	三田 誠広
孟徳と本初 三国志官渡決戦録	吉川 永青	煌(きらり)	志川 節子
● 影裏	沼田 真佑	仁者無敵 甫庵伝	志野 靖史
● 祝言島	真梨 幸子	● マイ・ディア・ポリスマン	小路 幸也
黄泉坂案内人 3条目	仁木 英之	● 暗闇のアリア	真保 裕一
家族のあしあと	椎名 誠	日本遺産からの死の便り	西村 京太郎
● ネタ元	堂場 瞬一	潔白	青木 俊
監督の問題	本城 雅人	● 秋霧	大倉 崇裕
● 濱地健三郎の霊なる事件簿	有栖川 有栖	明治乙女物語	滝沢 志郎
決戦! 関ヶ原 2	葉室 麟	紅城奇譚	鳥飼 否宇
● 嵯峨野花譜	葉室 麟	ピアリス	萩尾 望都
● 悪寒	伊岡 瞬	空に咲く恋	福田 和代
嘘をつく器 死の曜変天目	一色 さゆり	● 腐れ梅	澤田 瞳子
うなぎ女子	加藤 元	9 その他の文学	
潮風エスケープ	額賀 滯	● ひきこもらない	pha
● 絢爛たる奔流	岩井 三四二	ウンベルト・エーコの小説講座	ウンベルト・エーコ
歴史はバーで作られる	鯨 統一郎	僕には世界がふたつある	ニール・シャスタマン
わざと忌み家を建てて棲む	三津田 信三	● 悩むなら、旅に出よ。 旅だから出逢えた言葉 2	伊集院 静
● MM	市川 拓司	「司馬遼太郎」で学ぶ日本史	磯田 道史
囚われの盤	小島 環	人生散歩術	岡崎 武志
南風(みなみ)吹く	森谷 明子	島尾敏雄・ミホ	河出書房新社
俺たちはそれを奇跡と呼ぶのかもしれない	水沢 秋生	● あなたの人生を、誰かと比べなくていい	五木 寛之
光二郎分解日記 西郷さんの犬	大山 淳子	芸能人と文学賞	川口 則弘
● ネメシスの使者	中山 七里	戦争をよむ 70冊の小説案内	中川 成美
● とるとだす (「しゃばけ」シリーズ 16)	畠中 恵	父・福田恆存	福田 逸
桶狭間の四人 光秀の逆転	鈴木 輝一郎	1ランクアップのための俳句特訓塾	ひらの こぼ
さいとう市立さいとう高校野球部 3	あさの あつこ	● バブルノタシナミ	阿川 佐和子
パドルの子	虻川 枕	ステキな奥さんあはっ 2	伊藤 理佐

新 着 図 書 案 内 平成29年10月 No.2

書 名	著 者	書 名	著 者
9 その他の文学		悪魔の日記を追え	ロバート・K. ウィットマン
季語の博物誌	工藤 力男	● レクイエム昭和	文藝春秋
おしゃ修行	辛酸 なめ子	● 北海道20世紀の事件事故	大竹 功太郎
あなただけじゃないんです	瀬戸内 寂聴	● 歴史の証人ホテル・リッツ	テイラー・J. マツツエオ
ひとり 句集	瀬戸内 寂聴	大遺言 祖父・永六輔の今を生きる36の言葉	永 拓実
● 鬱屈精神科医、お祓いを試みる	春日 武彦	全国公共宿舍ガイド 第12版	実業之日本社
● 今日はヒョウ柄を着る日	星野 博美	世界史モノ事典 新版	平凡社
死の準備教育	曾野 綾子	日本史モノ事典 新版	平凡社
丹野智文笑顔で生きる 認知症とともに	丹野 智文	バルカン「ヨーロッパの火薬庫」の歴史	マーク・マゾワー
乱歩と正史	内田 隆三	官賊に恭順せず	原田 伊織
夏目漱石と西田幾多郎	小林 敏明	ブラタモリ 7・8	NHK「ブラタモリ」 制作班監修
俵万智 史上最強の三十一文字	河出書房新社	3 政治・経済・社会・教育	
ガラスの封筒と海と	アレックス・ シアラー	「わがまま」のつながり方	鎌田 實
● 階段を下りる女	ベルンハルト・ シュリンク	「西洋」の終わり	ビル・エモット
● 荒野に立てば	北方 謙三	今すぐやめさせたい子どもを 「ダメな大人」にする35の悪い習慣	田嶋 英子
● 風と共にゆとりぬ	朝井 リョウ	爆買いされる日本の領土	宮本 雅史
2 歴史・地理		そこが知りたい!日本の警察組織のしくみ	古谷 謙一 監修
羽柴家崩壊 茶々と片桐且元の懊悩	黒田 基樹	アドラー式「しない」子育て	向後 千春
物語ポーランドの歴史	渡辺 克義	マル暴捜査	今井 良
notte-mite北海道	昭文社	ほんとうの憲法	篠田 英朗
ニッポンとっておきの島風景	箭内 博行	アーレント最後の言葉	小森 謙一郎
上田寿美子のクルーズ! 万才	上田 寿美子	みるみる絆が深まる親子手帳	石田 勝紀
● ヴィクトリア朝英国人の日常生活 上・下	ルース・ グッドマン	失敗の法則	池田 信夫
幕末維新の古文書	岩下 哲典 監修	これを知らずに働けますか?	竹信 三恵子
ブータン 国民の幸せをめざす王国	熊谷 誠慈 編著	社会学部・観光学部	中村 正人
● 名字でわかるあなたのルーツ	森岡 浩	三菱財閥最強の秘密	田中 幾太郎
ホロコースト 女性6人の語り部	大内田 わこ	アフリカ文化探検	田中 二郎
知られざる本土決戦南樺太終戦史	藤村 建雄	遊びリレーション大全集 完全図解	土居 新幸 編著
地球の歩き方 2017~18 ベトナム	『地球の歩き方』 編集室編集	● 拉致と日本人	蓮池 透
消えゆく太平洋戦争の戦跡	「消えゆく太平洋戦争 の戦跡」編集委員会編	モディが変えるインド	笠井 亮平
車中泊コースガイド 北海道一周&ベストルート	地球丸	親権と子ども	榊原 富士子
中国の近現代史をどう見るか	西村 成雄	フェイクニュースの見分け方	烏賀陽 弘道
世界の廃墟・遺跡60	リチャード・ ハツパー	● 水を石油に変える人	山本 一生

新 着 図 書 案 内 平成29年10月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書 名	著 者	書 名	著 者
3 政治・経済・社会・教育		ぼくの村がゾウに襲われるわけ。	岩井 雪乃
戦後夜間中学校の歴史	大多和 雅絵	顔の老化のメカニズム	江連 智暢
蕎麦の旅人	福原 耕	いびき女子、卒業！	大場 俊彦
子どもといっしょが楽しいおうち歳時記	季節の遊びを 楽しむ会	義肢装具士になるには	益田 美樹
在日米軍	梅林 宏道	曲がった空間の幾何学	宮岡 礼子
最後の超大国インド	平林 博	歴史のなかの天文	斉藤 国治
香港 返還20年の相克	遊川 和郎	● ホーキング、ブラックホールを語る	スティーヴン・ W. ホーキング
● クルド人 国なき民族の年代記	福島 利之	海に沈んだ大陸の謎	佐野 貴司
三井・三菱・住友・芙蓉・三和・一勸	菊地 浩之	● 歌うカタツムリ	千葉 聡
帰宅恐怖症	小林 美智子	アルツハイマー病は「脳の糖尿病」	鬼頭 昭三
妄信 相模原障害者殺傷事件	朝日新聞 取材班	やっぱり、歯はみがいてはいけない実践編	森 昭
子ども格差の経済学	橋木 俊詔	なんとめでたいご臨終	小笠原 文雄
ブラック奨学金	今野 晴貴	5 技術・工業・家事	
● 人類はなぜ肉食をやめられないのか	マルタ・ ザラスカ	トコトンやさしい水道管の本	高堂 彰二
4 自然科学・医学		セルフリノベーションの教科書	坂田 夏水
怖くて眠れなくなる植物学	稲垣 栄洋	魚っ食いのための珍魚食べ方図鑑	西潟 正人
カリスマ解説員の楽しい星空入門	永田 美絵	● 電子レンジでつくるシニアのらくらく 1人分ごはん	村田 裕子
歯科医師になるには	笹田 久美子	おいしさを伝えるレシピの書き方Handbook	レシピ校閲者の会
帝国日本の気象観測ネットワーク 4 権太斤	山本 晴彦	戦争がつくった現代の食卓 軍と加工食品の知られざる関係	アナスタシア・マー クス・デ・サルセド
パーソナリティ障害	市橋 秀夫 監修	ゆる「糖質&塩分」オフ！おつまみおかず	岩崎 啓子
● ヒトはなぜ病み、老いるのか	若原 正己	かぎ針で編む黒ゆきこのフローラル デザイン	黒 ゆきこ
口から食べる幸せを守る	小山 珠美	地域の力を引き出す企業	細谷 祐二
星座の図鑑	沼澤 茂美	和えるおかず	坂田 阿希子
● 死体鑑定医の告白	上野 正彦	● おいしい雑草料理	小崎 順子
見つけて育てる生きもの飼育方ブック	新宅 広二	毎日のホーローレシピ	真藤 舞衣子
アルビノの話しよう	石井 更幸 編著	なぜ、ユニフォームは、働く人を 美しく魅せるのか？	長尾 孝彦
ひまわり8号と地上写真からひと目で わかる日本の天気と気象図鑑	村田 健史	冷凍保存レシピBOOK	鈴木 徹 監修
ぜんぶわかる宇宙図鑑	渡部 潤一 監修	食材たった10アイテムで献立 コーディネート7days	武蔵 裕子
オトナ女子のための“ホッ”と冷えとり手帖	渡邊 賀子	● 眺望絶佳の打ち上げ花火	金武 武
必勝法の数学	徳田 雄洋	作りおきサラダSPECIAL	主婦の友社
挑む！科学を拓く28人	日経サイエンス 編集部	● 新しい食べ方でやせる&健康になる 寒天レシピ	石澤 清美
宇宙48の謎 地球外生命体を探せ！	日経ナショナル ジオグラフィック社	サルビア給食室のやさしいお魚料理 新版	ワタナベ マキ
恐竜がいた地球	日経ナショナル ジオグラフィック社	ヨーグルトの冷たいお菓子と焼き菓子	若山 曜子

新 着 図 書 案 内 平成29年10月 No.4

書 名	著 者	書 名	著 者
5 技術・工業・家事		7 芸術・スポーツ	
親子おやつ クッキングでわっくわく!	久保田 恵美	● 手島圭三郎全仕事	「手島圭三郎全仕事」編集委員会
おっぱいがほしい! 男の子育て日記	樋口 毅宏	「いる」じゃん	くどう なおこ
フェイスブック 不屈の未来戦略	マイク・ホフリンガー	カーサの猫村さん 4	ほし よりこ
いつも、おしやれで。	西村 玲子	週末でつくる紙文具	永岡 綾
貯金1000万円以下でも老後は暮らせる!	畠中 雅子	小さなアレンジメントの本	坂口 美重子
焼きそば The YAKISOBA recipe book	満留 邦子	表参道のセレブ犬とカパーニャ要塞の野良犬	若林 正恭
重曹&クエン酸使いこなしアイデア集	ブティック社	裕次郎	本村 凌二
離れている家族に冷凍お届けごはん	上田 淳子	● 日本美術に見るきもの	近藤 富枝
はじめてのGmail入門 第2版	桑名 由美	新聞・雑誌をリサイクル古紙クラフトのかご・小もの	石上 正志 監修
ラクしてちゃんと! 「水だし」& 「野菜水だし」	武蔵 裕子	● 忘れられないひと、杉村春子	川良 浩和
トコトンやさしい3Dものづくりの本	柳生 浄勲	● 見落とされた癌	竹原 慎二
自動車整備が一番わかる	松平 智敬	いちまいの絵	原田 マハ
● 秒速8キロメートルの宇宙から 訓練編・宇宙編	大西 卓哉	大人かわいい華やかカラー切り絵	平石 智美
東芝原子力敗戦	大西 康之	ゼロから分かる! やきもの入門	河野 恵美子 監修
庖丁 和食文化をささえる伝統の技と心	信田 圭造	● ちゃぶ台返しの歌舞伎入門	矢内 賢二
● おいしいものには理由(わけ)がある	樋口 直哉	● 高峰秀子と十二人の男たち	高峰 秀子
● もっと、やめてみた。	わたなべ ぼん	0・1・8 総記・哲学・言語	
私、子ども欲しいかもしれない。	犬山 紙子	無宗教でも知っておきたい宗教のことは	島田 裕巳
6 産業・商業		● IT全史	中野 明
● 日航123便墜落の新事実	青山 透子	● 十歳までに読んだ本	西 加奈子ほか
● 世界一訪れたい日本のつくりかた	デービッド・アトキンソン	● 蔵書一代	紀田 順一郎
秘境駅跡探訪	牛山 隆信	メディアの驕り	廣淵 升彦
思い出のブルートレイン	鉄道ジャーナル編集部	子や孫にしばられない生き方	河村 都
● 牛車でいこう!	京樂 真帆子	古希に乾杯! ヨレヨレ人生も、また楽し	弘兼 憲史
日本懐かし鉄道大全	櫻田 純	日本語と道徳	西田 知己
時刻表探検	「旅と鉄道」編集部	読みたい心に火をつける! 学校図書館大活用術	木下 通子
はっか油で楽しむ暮らしのアイデア	重松 浩子 監修	● 読書で離婚を考えた。	円城 塔
喰ったらヤバいきもの	平坂 寛	日本人の哲学名言100	鷲田 小彌太
原色で楽しむカブトムシ・クワガタムシ	安藤“アン”誠起	さらに悩ましい国語辞典	神永 暁
メロンとスイカの歴史	シルヴィア・ラブグレン	町を歩いて本のなかへ	南陀楼綾繁
ミルクと日本人	武田 尚子	江戸のベストセラー	清丸 恵三郎
元気な魚が育つ水槽作り	青木 崇浩	明るく死ぬための哲学	中島 義道

平成29年10月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2 本館休館	3	4 おはなし くれよん	5 分館休館 ブックスタート	6	7 映画会
8	9 体育の日 本館休館	10 本館休館	11	12 分館休館 ビブリオバトル ライブラリー スタート	13	14 えほんのへやの おはなし会
15	16 本館休館	17	18 おはなし くれよん	19 分館休館	20	21
22	23 本館休館	24	25	26 分館休館	27 本館休館 分館休館	28 おはなし ぽけっと
29	30 本館休館	31				

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷲別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷲別町3-3-4	登別本町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日 最終金曜・年末年始	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00~18:00 (木曜のみ19:30)	10:00~20:00	9:00~18:00 (昼休みあり)	9:00~17:30 土日祝 17:00	9:00~17:30 土日祝 17:00